

ImageStation SuperSlider

(バーチャルスライドシステム)

Bitstrong バーチャルスライドシステムはサンプルのスライスをガラス板に塗布し、カメラを利用した検体識別システムです。本システムの利用により、サンプルをデジタル画像としてデータ化し、検体デジタル画像データをネットワークを介して閲覧することは可能です。バーチャルスライドの自動取込、転送、観察、遠隔診断、多人数との症例検討や教育も可能です。

主な特徴

■ 抜群なスキャン速度

サンプル自動識別機能は、サンプルのみをスキャンするため、短時間でガラススライドのスキャンとデジタル化を行い、素早くシームレスに画像のつなぎ合わせを実現できる。また、3次元シリーズ Z-Stack スキャンも可能。(図1)



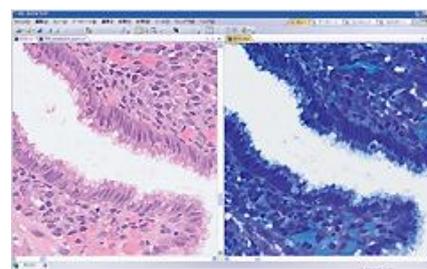
(1)

■ 常に高精細な画像にオートフォーカス

ダイナミックフォーカストラッキングシステムなので、サンプルの詳細を明らかにすることができる。

■ 強力なビューワ

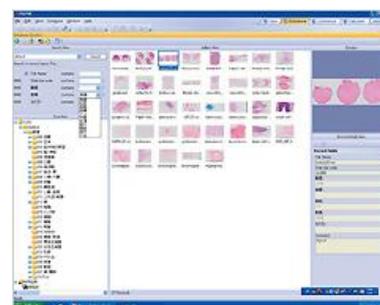
現在ユーザの全てのバーチャルスライドを閲覧し、指定スライドを任意に観察、削除できる。文字または音声のアノテーションを挿入できる。同じサンプルを異なる方式で着色したものも比較できる。このような異なる方式で着色した複数のバーチャルスライドシステムを同じモニタに並べて表示させる。位置と倍率を変化させながら観察することも可能。(図2)



(2)

■ 強力なクイック検索機能

指定キーワードでバーチャルスライドを検索することができる。サムネイル画像をダブルクリックすると、別のウィンドウでそのバーチャルスライドを確認することができる。(図3)



(3)

■ 便利で効率的な学習

教育の現場で教師はより効率的で興味深い教育経験を生徒にもたらし。特別なサンプルと特徴、典型的なサンプルと特徴を高画質で生徒たちに示す。また、生徒たちは顕微鏡なしでも家で学習したり画像を扱うことができる。インターネットにアクセスするだけでよい。

主な機能

■ 3次元バーチャルスライドの作成 (Z stuck プロトコルスタック機能)

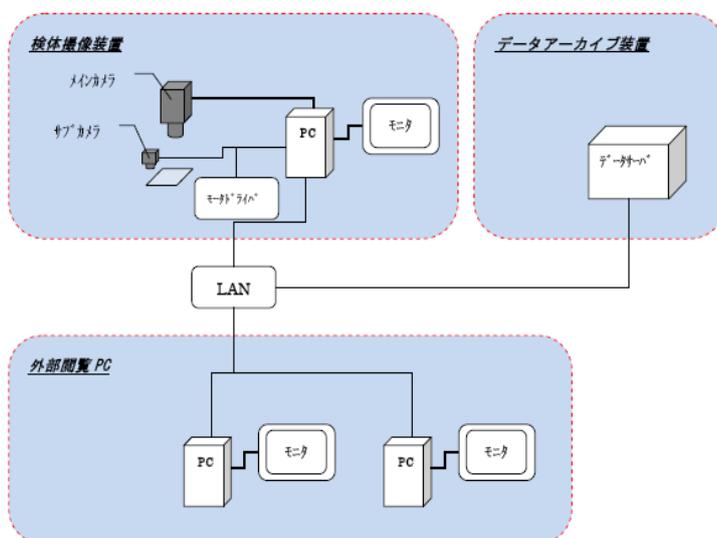
複数の領域の深度を変更できる指定深度・範囲・個数・倍率の3次元バーチャルスライドを作成できる。マウスをスクロールして深度を変更しながら3次元バーチャルスライドの閲覧ができ、キー位置をよく把握できる。細胞の塊および脳神経などの厚いサンプルの観察に非常に便利な機能。

■ デジタルコンテンツの一括管理

バーチャルスライドのほかに、その他の装置で撮影したマクロ写真、内視鏡画像、放射線画像、心電図などの画像データや、様々なファイルもデータベースに保存される。画像からファイルまで、繰り返してやり取りする必要のあるデジタルコンテンツの管理に非常に役立つ。

■ アクセス人数に応じて選択可能なサーバ

複数または少人数のクライアントに向けて二種類のサーバをオプションとして用意する。Webサーバ機能により画像データを転送するため、バーチャルスライドを広く公開できる。



バーチャルスライドシステムはサンプルのスライスガラス板に塗布し、カメラを利用した検体識別システム。



株式会社 ビットストロング

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 3-27-1 大洋ビル 5 階 502・503 号室

TEL : 03-5822-5344 FAX : 03-5687-8355

営業窓口 : product@bitstrong.com

URL : <http://www.bitstrong.com>

主な仕様

- 標本サイズ: ①20mm × 20mm 以上
②スライドガラス 76mm × 76mm
- カメラ
メインカメラ: カラーラインスキャンカメラ TVI Vision XIIMUS 2048CT-40
サブカメラ: モノクロエアアカメラ(スマートカメラ)
- OS: Microsoft Windows7 64ビット
- 撮像ステージ
 - ①安池機械設計製 専用撮像ステージ
 - ②スライドガラスのストッカー機能: 最大 40 枚/台
 - ③レンズ: 20 倍または 40 倍に対応(レンズ交換による)
 - ④撮像搬送スピード: 0.25us 以上
 - ⑤撮像処理時間: 5 分以内 (20mm × 20mm、倍率 20 倍の標本を 1mm でスキャンとストッカーからの出し入れお搬送を含む)
 - ⑥スキャン前後の準備時間: フォーカス測定の標本の移動などは 2 分以内
 - ⑦Z フォーカス: フォーカス位置を変化させ、標本の厚み変化に対応する。フォーカス位置の決定は画像処理により自動的に行う。